

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポーシジョンの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2021.9.20-26

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポーシジョンの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。



21:16 そこで、会衆の長老たちは言った。「あの残った者たちに妻をめとらせるにはどうしたらよかろう。ベニヤミンのうちから女が根絶やしにされたのだ。」

17 ついで彼らは言った。「ベニヤミンののがれた者たちの跡継ぎがなければならぬ。イスラエルから一つの部族が消し去られてはならない。」

18 しかし、私たちの娘を彼らにとつがせることはできない。イスラエル人は、『ベニヤミンに妻を与える者はのろわれる』と言って誓っているからだ。」

19 それで、彼らは言った。「そうだ。毎年、シロで主の祭りがある。」—この町はベテルの北にあって、ベテルからシェケムに上る大路の日の上の方、レボナの南にある—

20 それから、彼らはベニヤミン族に命じて言った。「行って、ぶどう畑で待ち伏せして、

21 見ていなさい。もしシロの娘たちが踊り出て来たら、あなたがたはぶどう畑から出て、めいめい自分の妻をシロの娘たちのうちから捕らえ、ベニヤミンの地に行きなさい。」

22 もし、女たちの父や兄弟が私たちに苦情を言いに来たら、私たちは彼らに、『私たちのため、彼らに情けをかけてやってください。私たちは戦争のときに彼らのひとりひとりに妻をとらせなかったし、あなたがたも娘を彼らに与えませんでした。もしそうしていたら、あなたがたは、罪に定められたでしょう』と言います。」

23 ベニヤミン族はそのようにした。彼らは女たちを自分たちの数にしたがって、連れて来た。踊っているところを、彼らが略奪した

女たちである。それから彼らは戻って、自分たちの相続地に帰り、町々を再建して、そこに住んだ。

24 こうして、イスラエル人は、そのとき、そこを去って、めいめい自分の部族と氏族のところに帰って行き、彼らはそこからめいめい自分の相続地へ出て行った。

25 そのころ、イスラエルには王がなく、めいめいが自分の目に正しいと見えることを行っていた。

ここでもまた勝手な解決法が取られます。ベニヤミン族には娘を嫁がせないと言った結果、彼らにシロの娘を略奪するように勧めたのです。しかも苦情を言う父兄に対しては、「罪に定められ」とまで言うとは、神への罪を持ち出して強行するという、全くの自己中心です。

自分の主張を正当化するために、神の権威を持ち出すというのは大きな罪です。時にクリスチャンは自分の主張を正しいと信じるあまり、神がそう語っておられると思い、混同してしまうことがありますから、気をつけなければなりません。常に神のことばである聖書に照らし合わせ、現実には神の栄光と平和を求めて判断してゆく必要があります。共同体としてのクリスチャンの総意もまた指針になります。

士師記に記されていることは、何重にも入り組んだ不信仰とその結果です。しかし人々は「めいめいが自分の目に正しいと見えることを行っていた。」というように、自分の不信仰に気づかずにいたのです。もしも主の教えに従って礼拝し、生きていけば回避できたものも多かったのですが、そのチャンスを自ら放棄していたところにも混乱の原因がありました。

クリスチャンのあるべき姿から逸脱することなく、また事に応じて聖書から主のみこころを聞き、そして従って生きましょう。「自分は正しいと思う」では士師記のようになってしまいます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたの中の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



21日 火曜

テモテ I

1:1 私たちの救い主なる神と私たちの望みなるキリスト・イエスとの命令による、キリスト・イエスの使徒パウロから、

1:2 信仰による真実のわが子テモテへ。父なる神と私たちの主なるキリスト・イエスから、恵みとあわれみと平安とがありますように。

1:3 私がマケドニヤに出発するとき、あなたにお願いしたように、あなたは、エペソにずっととどまっていた、ある人たちが違った教えを説いたり、

1:4 果てしない空想話と系図とに心を奪われたりしないように命じてください。そのようなものは、論議を引き起こすだけで、信仰による神の救いのご計画の実現をもたらすものではありません。

1:5 この命令は、きよい心と正しい良心と偽りのない信仰とから出て来る愛を、目標としています。

1:6 ある人たちはこの目当てを見失い、わき道にそれて無益な議論に走り、

1:7 律法の教師でありたいと望みながら、自分の言っていることも、また強く主張していることについても理解していません。

1:8 しかし私たちは知っています。律法は、もし次のことを知っていて正しく用いるならば、良いものです。

1:9 すなわち、律法は、正しい人のためにあるのではなく、律法を無視する不従順な者、不敬虔な罪人、汚らしい俗物、父や母を殺す者、人を殺す者、

1:10 不品行な者、男色をする者、人を誘拐する者、うそをつく者、偽証をする者などのため、またそのほか健全な教えにそむく事のた



めにあるのです。

1:11 祝福に満ちた神の、栄光の福音によれば、こうなのであって、私はその福音をゆだねられたのです。

教会の土台が揺らぐ原因の一つが、間違った教えです。エペソの教会には「空想話と系図」を根拠に、自論を主張する者がいたようです。よく聖書を知らないで、自分が教会の有力者になろうとすると、陥りやすいことです。

パウロは教会には指導者が必要だと感じて、テモテを任命しましたが、それは単に議論に勝つためだけではなく、「愛を、目標として」のことです。間違った教えはイエス様の愛を損なうものなのです。また正しい教えはイエス様の愛を実現するものでなくてはなりません。

教会など共同体の中で何か問題や課題があるとき、何よりもイエス様の愛が実現するかを忘れないで、判断しましょう。そして正しい福音理解の上に成り立つ結論に導かれるように、判断しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



22日 水曜

テモテ I

1:12 私は、私を強くしてくださる私たちの主キリスト・イエスに感謝をささげています。なぜなら、キリストは、私をこの務めに任命して、私を忠実な者と認めてくださったからです。

1:13 私は以前は、神をけがす者、迫害する者、暴力をふるう者でした。それでも、信じていないときに知らないでしたことなので、あわれみを受けたのです。

1:14 私たちの主の、この恵みは、キリスト・イエスにある信仰と愛とともに、ますます満ちあふれるようになりました。

1:15 「キリスト・イエスは、罪人を救うためにこの世に来られた。」ということばは、まことであり、そのまま受け入れるに値するものです。私はその罪人のかしらです。

1:16 しかし、そのような私があわれみを受けたのは、イエス・キリストが、今後彼を信じて永遠のいのちを得ようとしている人々の見本にしようと、まず私に対してこの上ない寛容を示してくださったからです。

1:17 どうか、世々の王、すなわち、滅びることなく、目に見えない唯一の神に、誉れと栄えとが世々限りなくありますように。アーメン。

1:18 私の子テモテよ。以前あなたについてなされた預言に従って、私はあなたにこの命令をゆだねます。それは、あなたがあの預言によって、信仰と正しい良心を保ち、勇敢に戦い抜くためです。

1:19 ある人たちは、正しい良心を捨てて、信仰の破船に会いました。

1:20 その中には、ヒメナオとアレクサンデル



がいます。私は、彼らをサタンに引き渡しました。それは、神をけがしてはならないことを、彼らに学ばせるためです。

パウロは自分について語る時、自慢するようなことは一切ありませんでした。むしろ過去の失敗について話す傾向があります。それも「罪人のかしら」というように明白な表現で、話を濁したりしません。それは自分自身を「人々の見本」して、神の「寛容を」示すためです。

このように主の栄光を真っ先に求める人によって、尊いみわざは進んでいきます。自分を誇ったり、美化したりする人には主の栄光は無縁ですし、結局そのうちポロが出てしまいます。

ですからパウロが「私は、彼らをサタンに引き渡しました。」と言うとき、それが個人的な事情ではないことが分ります。それが主と教会のために必要であったのです。

自分本位に気づいて、それを捨てることで、正しい決断をして行きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？





2:1 そこで、まず初めに、このことを勧めます。すべての人のために、また王とすべての高い地位にある人たちのために願い、祈り、とりなし、感謝がささげられるようにしなさい。

2:2 それは、私たちが敬虔に、また、威厳をもって、平安で静かな一生を過ごすためです。

2:3 そうすることは、私たちの救い主である神の御前において良いことであり、喜ばれることなのです。

2:4 神は、すべての人が救われて、真理を知るようになるのを望んでおられます。

2:5 神は唯一です。また、神と人との間の仲介者も唯一であって、それは人としてのキリスト・イエスです。

2:6 キリストは、すべての人の贖いの代価として、ご自身をお与えになりました。これが時至ってなされたあかしなのです。

2:7 そのあかしのために、私は宣伝者また使徒に任じられ、私は真実を言っており、うそは言いません。信仰と真理を異邦人に教える教師とされました。

2:8 ですから、私は願うのです。男は、怒ったり言い争ったりすることなく、どこでもできよい手を上げて祈るようにしなさい。

2:9 同じように女も、つつましい身なりで、控えめに慎み深く身を飾り、はでな髪の間とか、金や真珠や高価な衣服によってではなく、

2:10 むしろ、神を敬うと言っている女にふさわしく、良い行ないを自分の飾りとしなさい。

2:11 女は、静かにして、よく従う心をもって教えを受けなさい。

2:12 私は、女が教えたり男を支配したりする

ことを許しません。ただ、静かにしていただき。

2:13 アダムが初めに造られ、次にエバが造られたからです。

2:14 また、アダムは惑わされなかったが、女は惑わされてしまい、あやまちを犯しました。

2:15 しかし、女が慎みをもって、信仰と愛と聖さを保つなら、子を産むことによって救われます。

「すべての人が救われて、真理を知ようになる」ために、私たちは祈る必要があります。「王」などこの世を動かす人々のためにも祈るべきです。それは彼らが真理を知っているからではなく、真理を知ようになるために祈ることです。

ですから賛成できないような政府のためにも、尊敬できないような上司のや経営者のためにも祈るということです。彼らに「怒ったり言い争ったりする」のではなく、祈るのです。

男女の違いもまた気をつける必要があります。特に男性は争うことをしやすいため、気をつけるようにしなさいということでしょう。

女性は安心かというところでもなく、「女は惑わされてしまい、あやまちを犯しました。」とありますから、男性と同じく自戒しなさいということです。

「子を産むことにより救われます。」とは解釈が難解な部分ですが、これはエバの実例から語っているようです。エバはまさに子を産むことで「神が…与えてくださった。」とその恵みを再認識しました。もちろん出産の経験のない女性も、また男性も、救われるのですが、女性の傾向としてはそのような人が多いということです。

男性も女性も、それぞれの特質を感謝し活かしつつも、その弱さや短所を謙遜に知って、救いを完成する人格へと変えられて行きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



24日 金曜

テモテ I



3:1 「人がもし監督の職につきたいと思うなら、それはすばらしい仕事を求めることである。」ということばは真実です。

3:2 ですから、監督はこういう人でなければなりません。すなわち、非難されるところがなく、ひとりの妻の夫であり、自分を制し、慎み深く、品位があり、よくもてなし、教える能力があり、

3:3 酒飲みでなく、暴力をふるわず、温和で、争わず、金銭に無欲で、

3:4 自分の家庭をよく治め、十分な威厳をもって子どもを従わせている人です。

3:5 ・ ・ ・ 自分自身の家庭を治めることを知らない人が、どうして神の教会の世話をすることができのでしょうか。 ・ ・ ・

3:6 また、信者になったばかりの人であってはいけません。高慢になって、悪魔と同じさばきを受けることにならないためです。

3:7 また、教会外の人々にも評判の良い人でなければいけません。そしりを受け、悪魔のわなに陥らないためです。

3:8 執事もまたこういう人でなければなりません。謹厳で、二枚舌を使わず、大酒飲みでなく、不正な利をむさぼらず、

3:9 きよい良心をもって信仰の奥義を保っている人です。

3:10 まず審査を受けさせなさい。そして、非難される点がなければ、執事の職につかせなさい。

3:11 婦人執事も、威厳があり、悪口を言わず、自分を制し、すべてに忠実な人でなければなりません。

3:12 執事は、ひとりの妻の夫であって、子ど

もと家庭をよく治める人でなければなりません。

3:13 というのは、執事の務めをりっぱに果たした人は、良い地歩を占め、また、キリスト・イエスを信じる信仰について強い確信を持つことができるからです。

監督とはクリスチャンの中の指導者で、並みいる牧師や教会を指導する場合もあれば、クリスチャンのリーダーという場合も考えられるでしょう。その指導人数の多さではなく、霊的な指導者であるという尊い働きを思えば、「それはすばらしい仕事」です。

各教会の牧師や役員、またリーダーなどもここにあるような資質が求められています。それは男性だけの仕事ではなく、女性も「婦人執事」として奉仕するというのが、聖書的な男女平等の考え方です。

監督は指導者ですが、イエス様のように仕える謙遜が必要で、ここにある執事もまた仕える心が必要です。

教会の奉仕はどれも救いにつながる重要なものですから、自分自身を吟味して、少しでもふさわしい者となって、謙遜に仕えましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたの中の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



3:14 私は、近いうちにあなたのところに行きたいと思いつつも、この手紙を書いています。

3:15 それは、たとい私がおそくなればあいで、神の家でどのように行動すべきかを、あなたが知っておくためです。神の家とは生ける神の教会のことであり、その教会は、真理の柱また土台です。

3:16 確かに偉大なのはこの敬虔の奥義です。「キリストは肉において現われ、霊において義と宣言され、御使いたちに見られ、諸国民の間に宣べ伝えられ、世界中で信じられ、栄光のうちに上げられた。」

4:1 しかし、御霊が明らかに言われるように、後の時代になると、ある人たちは惑わす霊と悪霊の教えとに心を奪われ、信仰から離れるようになります。

4:2 それは、うそつきどもの偽善によるものです。彼らは良心が麻痺しており、

4:3 結婚することを禁じたり、食物を断つことを命じたりします。しかし食物は、信仰があり、真理を知っている人が感謝して受けるようにと、神が造られた物です。

4:4 神が造られた物はみな良い物で、感謝して受けるとき、捨てるべき物は一つありません。

4:5 神のことばと祈りによって、聖められるからです。

パウロは「神の家（教会）でどのように行動すべきか」を書き送りました。もちろんこの世での行動も大切ですが、神との接点である教会は第一に大切なものです。永遠の救いと真理がそこにあるからです。

ですから教会から離れる人は、神様から離れるといっても過言ではないでしょう。もちろん神様の愛の手は伸べられています、それを素通りしてしまう生き方と言えます。

また教会では教えられている内容が非常に重要で、救いの教理も大切です、救われた者の実生活についても大切です。ここでは「結婚を禁じたり」「食物を断つことを命じたり」と、その間違いの例が記されています。

神の家である教会に集い続け、神様の福音の真理に生きて、「真理の柱また土台」を築き上げて行きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



ことがその御思いを受け止める道です。

4:6 これらのことを兄弟たちに教えるなら、あなたはキリスト・イエスのりっぱな奉仕者になります。信仰のことばと、あなたが従って来た良い教えのことばとによって養われているからです。

4:7 俗悪な、年寄り女がするような空想話を避けなさい。むしろ、敬虔のために自分を鍛練しなさい。

4:8 肉体の鍛練もいくらかは有益ですが、今のいのちと未来のいのちが約束されている敬虔は、すべてに有益です。

4:9 このことばは、真実であり、そのまま受け入れるに値することばです。

4:10 私たちはそのために労し、また苦心しているのです。それは、すべての人々、ことに信じる人々の救い主である、生ける神に望みを置いているからです。

4:11 これらのことを命じ、また教えなさい。

年の若い指導者であるテモテに、パウロが具体的なアドバイスを送っています。テモテよりも人生経験の長いクリスチャンはいたでしょうが、パウロはテモテを指導者に任じました。主の働きは年齢ではなく、「信仰のことばと、…良い教えのことばとによって養われている」ことが大切なのです。もちろん年配者でも同じです。このような養いに目を留めて、大切にしていきたいでしょう。

信仰には「鍛練」も必要です。救われたのだからそれでいい…というのではなく、成長のために努力しましょう。みことばから勧められることはやってみましょう。また自分は自分のままでいいからチャレンジはしない…というのではなく、努力しましょう。

鍛練ですから、それは実践をすることによる成長です。敬虔とは神様の思いで生きることです。祈る

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたの中の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

